

ノート(5年生のときに使っていた算数ノート なければ家にあるもの)に書いて、学習をすすめましょう。★はノートに書きません。

4月 日()

★P10 ② ★線対称な図形の性質について調べよう。

問題

右の図は、線対称な図形で、直線アイは対称の軸です。
右の図を使って、線対称な図形の性質を調べましょう。

★線対称な図形の性質を調べるために、図形のどんなところに注目すればよいでしょうか。

二つ折りにすると、頂点や辺がどのように動くかイメージしてみましょう。

↓書いて、考えてみましょう。

二つ折りにしたときに重なる辺の長さ、角の大きさ

★重なる辺や頂点を書きましょう。頂点 B と重なるのは？ 辺 BC と重なるのは？

頂点 B → 頂点()

辺 BC → 辺()

頂点 C → 頂点()

辺 CD → 辺()

★↓書きましょう。

線対称な図形で、二つ折りにしたときに
重なり合う辺、角、点

「対応する辺」

「対応する角」

「対応する点」

★P11 まとめの図の辺の長さ、角の大きさを測って、直接教科書に書きこみましょう。登校後にみんな確認します。

(例) 角 B 75度(角 B の近く書きこんでください。)

辺 AB 2cm(辺 AB の近く書きこんでください。)

角 C...角 F...角 E...角 BAD...角 FAD...角 CDA...角 EDA...

辺 BC...辺 CD...辺 DE...辺 EF...辺 AF...

★↓書きましょう。

まとめ

・線対称な図形では、対応する辺の長さや、対応する角の大きさは等しくなっている。

・対称の軸で分けた2つの図形は合同になっている。

★5年生の復習:「合同」の学習でも「対応する」ということばが出てきました。

→P274を読んで確認しましょう。